



## Network



9月6日(土)、JICA北海道(札幌)で開催されたお祭り、2025世界ふれあい広場～めぐらう世界、広げよう笑顔～のNGOブースに出演しました。出展の合間に館内を散策しましたが、サンバダンスがあつたり、各国の民族衣装や浴衣を着ることができたり、美味しいお料理、ゲームなどもありました。家族連れの来場者が多く、楽しんで海外を身近に感じることができます。NGOブースにも多くの方が立ち寄ってください、カンボジア商品を見て、カラフルだね～とか、タイと似てるね～とか。わいわい楽しい1日となりました。



10月26日開催『みなこいワールドフェスタ・こまがね国際広場』にて、カンボジアのクラフト品を販売します！JICA海外協力隊や国際協力に関心のある高校生大学生4名が中心となり、カンボジアの市場を再現したブースを出店予定。子どもから大人まで、幅広い世代に楽しんでいただけるブースになるように準備を進めています！

『みなこいワールドフェスタ』は、長野県南部上伊那地域にある4市町村（宮田村、中川村、駒ヶ根市、飯島町）で毎年秋に開催されている国際交流イベントです。



セカンドハンドユースでは奨学生の支援のため、毎月2回ほど高松中央郵便局前で募金活動を行っています。今年の夏も猛暑のなか熱中症対策をしながら頑張りました。お陰さまでたくさんの方から募金をいただきました。

ご興味のある方はご連絡ください！

これからもセカンドハンドユースをよろしくお願いします！



6月から8月までの3ヶ月間にご寄附をくださった方々です。(順不同・敬称略)  
青野千恵子、伊賀憲子、池内保、伊藤祐喜子、大塚千佐、大波 美栄子、岡本洋功、小笠寛幸、奥谷照榮、片山績、片山弘子、亀山誠子、川崎多恵子、黒田好子、吳妙專、四国物産株式会社、清水博子、下地初子、白川ふみ、末澤一誠、篠夢菴房たから、田村美津子、俵恵美、塙田泰代、土屋徹秋、富田美恵、友近規、西川亞里、新田薰、沼田章、のぞみ総合法律事務所、原田あつ子、福島玲奈、藤田敏彦、真嶋由岐夫、三木佳子、美濃吉広、宮本明宜、三輪加奈、山本博美、横田千春、吉本房子、若杉淳子、綿邊亜弥、渡部御千子



インスタで最新情報発信中！

### 本部・高松店 年末年始休業：12/27(土)～1/4(日)

〒760-0055 高松市観光通1-1-18  
TEL: 087-861-9928  
営業時間: 月～金 10時～16時  
定休日: 土曜、日曜、祝日

### 片原町店 年末年始休業：12/30(火)～1/2(金)

〒760-0040 高松市片原町9-1  
TEL: 087-822-3552  
営業時間: 月～金 10時～18時  
土・祝日 10時～17時  
定休日: 日曜

### 松縄店 年末年始休業：12/28(日)～1/4(日)

〒760-0079 高松市松縄町37-5  
TEL: 080-4999-0494  
営業時間: 月～水、金・土 11時～18時  
定休日: 木曜、日曜、祝日



セカンドハンドは「チャリティーショップ」と呼ばれるお店を運営し、その収益でカンボジアの支援をしています。

### 公益社団法人セカンドハンド

〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18 TEL&FAX 087-861-9928  
✉ jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/sh/



あなたの手を、世界の誰かに。

# Sambot

セカンドハンド通信

設立30周年記念事業として、今年から着工していたカンボジア・トムポー小学校の新校舎が9月初めに竣工しました。セカンドハンドによる25校目の校舎になります。ボランティア3名が竣工直後的小学校を訪問し、子どもたち、地域の人々と交流しました。その模様を紹介します。

(協力：シャンティ国際ボランティア会)  
訪問の前後で、スカラーペアレンツ制度で支援しているKKEV(ノンペン)、フォスターペアレンツ制度のホームランド、ラチャナハンディクラフト(いずれもバッタンバン)も訪問しました。



### Contents

カンボジア渡航報告

Network

Special Thanks

2025 October  
Vol.  
122

# カンボジア 渡航報告



新校舎が完成したトムポー小学校を訪問しました。新校舎は、3つの教室で6クラスの子どもたちが学べます。(午前午後の二部制)  
夏休み中にも関わらず、校長先生や子どもたち、地域のお母さんたちが、私たちを笑顔で迎えてくれました。



ホームランドでは、最初に子どもたちの身長と体重を測定し、現地スタッフが一人ひとり問診して健康をチェックしました。どの子も健康状態に問題はなく順調に成長している様子がうかがえました。  
その後は子どもたちの家族も加わり、bingoゲーム、じゃんけん大会などで盛り上がらりました。



## エピソード



子どもたちとの交流では、覚えてくれた日本語の「こんにちは」から始まり、好きな科目や将来の夢について話をした後、セカンドハンドから、ボールペンを贈りました。  
皆さまのご協力により完成した新校舎のもと、今後もより多くの子どもたちが勉学に励んでくれることを期待しています。

私は植樹に行こうとして、ぬかるんだ土に滑って派手に転んでしまいました。そこに素早く駆けつけてくれたのは、地域の人達でした。特に、お母さん達数人は、すぐに椅子を用意してくれて、首や肩、腕をさすってくれ、タイガーバームを塗ってくれました。お母さん達のあたたかい手を感じながら、この地域には優しい助け合いの精神が根付いていると実感した出来事でした。(舟越)



ホームランド訪問前日に、子どもたちの世話をしているサムオンとともに家庭訪問を行いました。訪問したのは、4家族。暮らしぶりや、食事、子どもの将来のことなどについて、子どもたちとその家族と話し合いました。4家族とも深刻な状況ではないものの、支援を続けていく必要性を感じました。(鈴木)



## エピソード

### 6年ぶりの再会(9月7日)

私の里子だったPhy君が会いに来てくれました。6年ぶりでしたが、すっかり容姿が変わっていて、私は最初Phy君だと気づきませんでした。会社勤めをしていて、兄弟を養っていると聞きひと安心。今の自分があるのはセカンドハンドのおかげと何度も感謝されました。これからも頑張れ、Phy君!!?(堀)